

第36期（第1回）神戸市社会教育委員会議事録（要旨）

1. 日 時：令和2年12月1日（火）16：00～17：30
2. 場 所：神戸市教育委員会事務局 教育委員会室
3. 出席者：
 - (1)社会教育委員10名
 - (2)事務局 工藤総務部長、東教育企画担当課長、安田課長（文化財課）、
鎌田担当課長（中央図書館）、山本学芸課長（博物館）、井関課長（文化交流課）
4. 開 会：教育企画担当課長
5. 挨拶：総務部長 第36期社会教育委員就任に対する謝意と、今後の社会教育行政への協力のお願い。
6. 議事

（1）第36期神戸市社会教育委員会議事 議長・副議長の選出について

（事務局）神戸市社会教育委員会議規則第2条に、会議に社会教育委員の互選による、議長及び副議長各1名を置くことある。第36期神戸市社会教育委員会議の議長、副議長について、委員の方から推薦はあるか。

（齋藤委員）議長に松岡委員、副議長に目黒委員を推薦する。

（事務局）他に推薦、意見はあるか。

（委員）異議なし。

（事務局）それでは第36期神戸市社会教育委員会議の議長を松岡委員、副議長を目黒委員にお願いする。これより報告事項等に入るが、神戸市社会教育委員会議規則第4条の規定により、進行を松岡議長に委ねる。

7. 報告事項：

（1）第35期第5回会議議事録【要旨】の確認について

（事務局）資料4～7ページにより、前回の会議議事録（要旨）について説明

（議長）質問、意見はあるか。

（委員）訂正箇所3カ所指摘

（2）各事業報告

① 埋蔵文化財センター事業報告

（事務局）資料8ページにより、埋蔵文化財センター事業報告について説明。

（議長）今年度より文化財課は教育委員会から市長部局へ移管されたが、他部署との連携について、移管後影響はあるか。

（事務局）移管前に比べると、連携についてより意識的に行うようになっている。今後10年間の地域計画を現在作成しているが、その中でも教育委員会やその他の部局との連携について、項目を設けて記載している。

② 博物館事業報告

（事務局）資料11ページにより、博物館事業報告について説明。

（三浦委員）博物館の事前予約制について、もし予約せずに来館した方がいた場合、

入館を断っているのか。告知が難しいと思うのだが。

(事務局) 断りはしない。時間単位で何人という事前予約なので、その中で空きがあれば入館いただく。告知も難しいが、予約のための端末操作も手間を取られるので利用者からは面倒だという意見も聞いている。来館者が減ってしまうのは致し方ないが安全第一で考えている。

(人羅委員) 予約の方法について、HP からのみ可能なのか。電話予約は受け付けているのか。

(事務局) 基本はHP からの予約をお願いしているが電話で予約してくる方もいるので、それについては適宜対応している。

(議長) 今後1箇所で大勢の人間が集まる機会は減ってくる。その中で大事にしていくべきは「量より質」であると考え。来館者数の減少は覚悟の上、例えば事前予約での来館者枠を8割、予約なしの来館者枠を2割設けるといった、ITリテラシーの低い方にも門戸を開ける工夫が必要。

社会教育施設へ「量より質」に重点を置いた運営を行うよう、社会教育委員会議で提案させていただく。

(目黒委員) 来館者数のみで単純に施設の事業実績の評価をしないということも提案に付け加えたい。

(議長) 来館者の満足度調査以外にも、様々な来館者への配慮も評価基準にするよう提案する。

③ 図書館事業報告

(事務局) 別紙資料により、図書館事業報告について説明。

(三浦委員) 新垂水図書館について工事期間中は既存の図書館は使用できるのか。

(事務局) 約1カ月の引越しの期間以外は使用できる。

(井上委員) 名谷図書館について、学習できるスペースは館内レイアウトのどこの部分になるのか。

(事務局) 番号1～4の部分想定している。限られた座席をなるべく多くの来館者が使用できるよう、座席管理システムを導入し使用時間の上限を設定する。上限の時間については、現在検討中である。

(目黒委員) 座席予約システムを導入している他の図書館はあるのか。

(事務局) 最近開館した大型の図書館の多くが導入している。座席の使い方はどの図書館でも課題の一つ。滞在型図書館と云われる一方で、ずっと滞在される方ばかりになると、たまに来館する方が座って読むことができなくなるため、システムの導入が増えてきている。それらのデータも見ながら運用方法の検討をしていく。

(議長) 先ほどの博物館事業報告の際も発言したが、来館者数を意識するあまり、施設の利用方法に制限がかかってはいけない。1日中籠って誰に管理されることなく書籍や資料と向き合える空間が、図書館にはあってほしい。上限の時間を設定する際はこの視点も忘れないでいただきたい。

④ コミスタこうべ事業報告

(事務局) 別紙資料により、コミスタこうべ事業報告について説明。

(議長) コミスタこうべの位置付けについて改めて確認しておきたいが、所管が教育委員会にあったころは4、神戸の社会教育における中心的施設として、その運営や事業、企画について当会議で検討してきたのだが、それは今後も変わらないという認識で良いか。

(事務局) それで構わない。

(議長) 他に質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

6. 閉 会：教育企画担当課長

【以上】